



2025 年度
海外文化・語学研修
募集要項
(東西大学校・文化語学研修)

〈参加申込期間(二次)〉

2025 年 10 月 30 日 (木) ~ 11 月 20 日 (木) 15 時 00 分

(参加者確定の通知 11 月 21 日 (金) 予定)

〈申込方法〉

Web 申込み+書類提出

(Web：申込フォームの送信、メール・窓口：必要書類の提出)

問合せ先：教務部 国際担当

電話：03-5394-3039

メールアドレス：kokusai@mail.tais.ac.jp



～2025 年度 海外文化・語学研修 募集要項～

研修名	東西大学校 文化・語学研修
言語	韓国語（初級～初中級）
研修期間	2026 年 2 月 2 日（月）～2 月 13 日（金）
研修校・所在地域	東西大学校 / 韓国 釜山
最少催行人数	8 名（他大学参加者含む）
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国語コミュニケーション能力を身に付ける ・韓国文化体験、異文化理解の促進 ・現地学生との交流を通じて、韓国に対する理解を深める
宿泊形態	東西大学校キャンパス内の学生寮へ滞在予定
対象	全学部・全研究科の学生および院生が対象
参加費用（概算）	25～30 万円程度 ※2025 年 10 月のレート（1KRW=0.10JPY）を基準に算出しています 注）参加者の確定後、最終的な費用を算出してご案内します
納金方法	大正大学での参加申込み手続き完了後、大正大学に参加費を納金 ※納金方法は、参加者確定後お知らせします
奨励金	2 万円/1 名の海外語学研修奨励金を支給 ※詳細は、p.3 を参照
共同運営	<ul style="list-style-type: none"> ・東西大学校外国語教育院 ・東西大学校日本研究センター
単位認定	第Ⅲ類科目「韓国文化論(2 単位)」2 単位認定予定 ※4 年生、大学院生、過年度研修参加者は単位認定がされません
事前・事後学習	研修前：5 回程度の事前学習を実施予定 研修後：事後学習及び学修成果の報告会を開催予定

<日程>

日程	予定	滞在
2/2（月）	往路 KE2130（成田 12:45-釜山 15:20）予定 [大韓航空] 学生寮チェックイン	キャンパス内学生寮
2/3（火） ～2/12（木）	東西大学校にて研修	
2/13（金）	学生寮チェックアウト 復路 KE2131（釜山 16:20-成田 18:30）予定 [大韓航空]	—

※参加者確定後に航空券の手配が行われるため、フライト情報や発着空港が変更となる場合がございます

【研修概要】

協定校である東西大学校にて開催される、基本的な韓国語コミュニケーション能力の修得、韓国文化理解に焦点を当てたプログラム。

参加学生のレベルに応じて展開する韓国語講座のほか、韓国料理作りや韓服の着付け、K-POP ダンスのレクチャーといった実践的な韓国文化体験を予定しています。

また、東西大学校で日本学を学んでいる現地学生チューターとの交流を楽しみながら研修が展開されます。

※他大学と合同実施予定

スケジュール例（2024 年度研修実施実績）：

	2月3日（月）	2月4日（火）	2月5日（水）	2月6日（木）	2月7日（金）	2月8日（土）	2月9日（日）
9:00-13:00	成田空港12:45発 金海空港15:20着	韓国語授業（4h）	釜山ツアー ・釜山伝統文化体験館、 ・甘川文化村	慶州ツアー ・仏国寺 ・大陵苑 ・ファンリダンキル ・瞻星台	韓国語授業（4h）	フリータイム	フリータイム
14:00-18:00	・学生寮チェックイン ・フリータイム (食事、ショッピングなど) ・オリエンテーション	陶磁器体験			東西大学学生との交流会		
	2月10日（月）	2月11日（火）	2月12日（水）	2月13日（木）	2月14日（金）	2月15日（土）	2月16日（日）
9:00-13:00	韓国語授業（4h）	韓国伝統料理作り	文化体験(テコンドー 体験)	文化体験(K-POPダンス体験)	韓国語授業（4h）	フリータイム	金海空港16:20発 成田空港18:30着
14:00-18:00	韓国語授業（2h）	韓国語授業（2h）	韓国語授業（2h）	韓国語授業（2h）	韓国語授業（2h）		

※今年度のスケジュールは現在調整中です

研修のポイント🔗

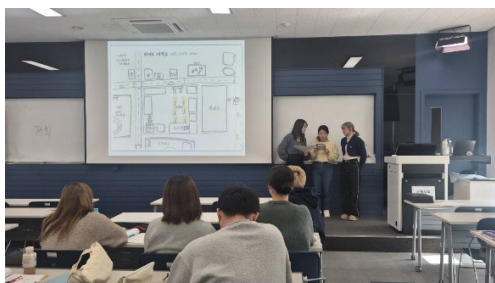
★韓国語授業★

韓国語の基礎を身に付けて、基本的な会話表現について学びます。

まず、韓国語の発音を学んだうえで、挨拶や自己紹介等の基本的な韓国語コミュニケーション能力を身に付けます。授業は、参加学生のレベルに合わせて柔軟に展開されます。

★韓国文化体験、学外アクティビティ★

釜山シティツアーや慶州への小旅行といった学外アクティビティ、また、韓国料理体験や韓服体験、K-POP ダンス体験といった文化体験プログラムを通して、韓国文化を全身で体験しながら、理解を深めることができます。



【参加から修了までのスケジュール】

No.	内容	日程	備考
1	参加申込み期間	10月30日(木)～11月20日(木)15:00	Web 申込+書類提出
2	参加者確定通知	11月21日(金)予定	申込時登録のメールアドレスに通知
3	参加費納金期間	11月下旬～12月中旬頃予定	納金方法詳細は参加者確定後に案内
4	事前学習会実施	12月上旬～2026年1月下旬(予定)	申込時登録のメールアドレスに通知
5	研修実施	2月2日(月)～2月13日(金)	
6	研修報告書の提出 事後アンケートの回答	～3月下旬	
7	研修成果報告会への参加	5,6月予定	詳細が確定次第、お知らせ

※上記内容や実施日は、一部変更となる可能性があります

※メールによる通知は、申込み時登録のメールアドレス(原則、大学発行のメールアドレス)宛にお送りします

【参加費用】

250,000～300,000 円程度(概算) ※2025年10月のレート(1KRW=0.10JPY)を基準に算出しています

注) 参加者の確定後、最終的な費用を算出してご案内します

参加費用に含まれるもの

- ☐ 研修費(授業料・教材費等)
- ☐ 滞在費(学生寮滞在)
- ☐ 文化体験、学外アクティビティ費
- ☐ 往復航空運賃

参加費用に含まれないもの ※5～8万円程度の見込み

- ☐ 食費
- ☐ 現地での交通費(学外アクティビティに係るものを除く)
- ☐ 現地での通信費(海外用 Wi-Fi 等)
- ☐ 本学指定の海外旅行保険料(15,000～20,000 円程度)
- ☐ 渡航手続き諸費用(パスポート申請費用等)
※パスポート申請費 15,000 円程度
- ☐ 自宅⇄成田 or 羽田空港間の交通費(往復)
- ☐ 個人的な小遣い、その他雑費

【奨励金の申請について】

海外語学研修奨励金	
支給額	2万円(給付)
支給要件	①事前面談 ②事後アンケートへの回答 ③成果報告会での報告
支給人数	原則参加者全員
申請手続き	特になし

～申請から採用までのスケジュール～

No.	内容	日程	備考
1	事前面談	11月下旬～12月上旬	面談日程は後日案内
2	奨励金支給	1月末～2月初旬	参加学生の口座へ支給

【申込方法】

※「2025 年度 海外文化・語学研修 募集要項（本紙）」を熟読のうえ、お申込みください。

Web 申込み+書類提出（メール・窓口）

提出必要書類

- ☐ 2025 年度 海外文化・語学研修 参加申込フォーム
- ☐ 2025 年度 海外文化・語学研修 参加志望理由書
- ☐ 海外渡航誓約書
- ☐ パスポートコピー

以下、①, ②, ③の手続きをもって、参加申込み手続き完了となります。

① Web 申込み

「2025 年度 海外文化・語学研修 参加申込フォーム」(<https://forms.office.com/r/RNwc7V2uhV>)
に必要事項を入力のうえ送信する。

② 書類作成

T-Po 掲示『海外文化・語学研修（韓国／ドイツ）追加募集のお知らせ』（10/30 発信）から「2025 年度 海外文化・語学研修 参加志望理由書」「海外渡航誓約書」をダウンロードし、必要事項を記載する。 ※参加志望理由は具体的に記入してください

③ 書類提出

書類により提出方法が異なりますので、ご注意ください。

■メール提出

「2025 年度 海外文化・語学研修 参加志望理由書」

ファイル形式：excel ファイル

「パスポートコピー」

氏名や顔写真等が記載されている身分事項ページのスキャンデータを提出してください。

ファイル形式：jpg ファイルもしくは pdf ファイル

⇒提出先：教務部 国際担当 (kokusai@mail.tais.ac.jp)

件 名：「2025 年度 海外文化・語学研修 参加申請（学籍番号 氏名）」

■窓口提出

「海外渡航誓約書」

署名欄に署名したものを紙面で提出してください。

⇒提出先：1 号館 1 階 教務部 国際担当

※実習等で来校するのが難しい場合は、書類のスキャンデータ（pdf 形式）を申込期間中にメール
（件名「海外渡航誓約書」学籍番号、氏名）で提出し、後日窓口で書類原本を提出してください。

【参加申込期間(二次)】

2025 年 10 月 30 日（木）～11 月 20 日（木） 15：00

留意事項

※海外文化・語学研修の参加にあたっては、以下に記載されている内容について理解したうえでお願いしたものとみなしますので、必ず確認し、不明点があれば教務部国際担当にお問合せください。

1. 韓国への渡航について（2025 年 10 月現在）

2025 年 10 月現在、韓国へ渡航する場合、渡航要件・検疫措置は設定されていません。

＜韓国入国に際する条件・必要な手続き＞

- ・日本国籍の場合、90 日以内の観光・知人訪問等での滞在は原則無査証での滞在が可能

※入国日基準で、パスポートの残存期間が3ヶ月以上あることが望ましい

- ・電子入国申告書（e-Arrival Card）の登録

入国にあたり、事前に電子入国申告書（e-Arrival Card）の作成・提出が求められます。

【参照】大韓民国電子入国申告書

<https://www.e-arrivalcard.go.kr/portal/main/index.do?locale=JP>

- ・検疫情報事前入力システム（Q-code）の登録

※入国手続き簡素化のため、利用を推奨

【参照】検疫情報の事前入力システム（Q-code）

<https://cov19ent.kdca.go.kr/cpassportal/?lang=ja>

＜日本帰国に際する条件・必要な手続き＞

特になし

※Visit Japan Web（入国手続オンラインサービス）の利用を推奨

【参照】デジタル庁／Visit Japan Web (<https://vjw-lp.digital.go.jp/ja/>)

2. キャンセル料・研修催行の可否について

研修への参加決定後は、本学が正当と認めたとき以外、キャンセルは認められませんのでご注意ください。

本学が正当と認めた事情でキャンセルする場合でも、渡航手配・協定校の規定により、キャンセル料が発生する場合があります。

派遣先の国・地域において、参加者の安全確保が難しいと考えられる場合および協定校が研修提供を中止した場合など、本学が研修の中止を決定する場合があります。また、派遣後においても、現地での安全確保が図れないと判断した場合は、途中帰国を指示することがあります。すでに研修費用をお支払いいただいている場合には、本学が協定校および旅行手配会社と協議のうえ、研修費用の返金について可能な限り調整いたします。ただし、いかなる理由であっても、本募集要項に記載の「参加費用に含まれるもの」以外の費用については、返金または費用の補填等は一切できません。

また、参加者の数が最少催行人数に達しない場合には、協定校、旅行会社等と協議のうえ実施の可否を決定します。その場合、参加希望者の承諾を得たうえで研修旅行代金が増額となることがあります。

以上の点をご留意のうえお申込みください。

3. 参加にあたっての留意事項

- (ア) 参加学生は、「研修は学生個人の自発的選択と責任において行われるべきものである」ことの主旨を理解し、研修に励まなければなりません。
- (イ) 研修中の一切の行動は学生個人の責任において行わなければなりません。**研修の参加は任意ですので、この研修を理由に、大学が定めた実習や各種資格試験などの日程を変更または欠席することはできません。**
- (ウ) 教務部（国際担当）および担当教員、協定校担当者は、研修の成果を上げるためのオリエンテーションやフォローアップを随時行います。
- (エ) 研修参加者は、**プログラム前後に行われる事前・事後学習会に必ず参加してください。**
- (オ) 事前学習会を自己都合によって一方的に無断欠席した場合、各種手続きに必要な書類を指定された期日までに提出しない場合、または、国際担当や他の参加者への態度に著しく問題があると判断される場合（例：攻撃的な態度、言語または暴力による威嚇・脅迫等）には、本プログラムへの参加資格を取り消す可能性があります。その場合、すでに納入した研修参加費用は返金しません。
- (カ) 研修中は、協定校担当者および関係者からの指示に従ってください。協定校担当者の指示に従わない場合、協定校担当者に対して著しく不遜または攻撃的な態度を取った場合、または協定校担当者および教職員、本学からの他参加者等を含む研修関係者にいかなる身体的、心理的および物理的損害を与えた場合は、協定校との合意に基づき、研修期間中であっても参加資格取消しの措置の対象とします。なお、協定校または損害の被害者への弁済および参加資格取消しに伴う費用は全て当該参加者が負担するものとします。
- (キ) 研修中に撮影した写真・動画等を、広報制作物等で使用するほか、大学ホームページに掲載することがあります。

4. 個人情報の取扱いについて

大正大学では、個人情報に関する法令を遵守するとともに、「大正大学個人情報保護規程」に基づいたプライバシーポリシーに従って個人情報の適切な取扱いに努めています。

なお研修の参加にあたり収集した個人情報は、研修実施のために必要な範囲で協定校担当者および関係者に提供されます。